

第 40 回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会

- 主催団体：公益財団法人日本サッカー協会、一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟
- 主管団体：公益財団法人北海道サッカー協会、北海道クラブユースサッカー連盟
- 後援：スポーツ庁、公益社団法人日本プロサッカーリーグ
札幌市教育委員会、小樽市教育委員会、夕張市教育委員会、栗山町教育委員会
- 協 賛：キリンホールディングス株式会社、アディダスジャパン株式会社、株式会社モルテン

● 大会スケジュール

2025 年 8 月 15 日～2025 年 8 月 25 日

※個人割り当ては 2025 年 8 月 19 日 (ラウンド 32 まで)

● 会場

北海道/札幌サッカーアミューズメントパーク、札幌市厚別公園補助競技場、白旗山競技場、
小樽市望洋サッカー・ラグビー場、夕張サングリンスポーツヴィレッジ、栗山ふじスポーツ広場

● 参加審判員

1 級審判員 1 名 U-22 審判員 20 名 2 級強化審判員 30 名 + 地域派遣
計 51 名 + 地域派遣

● 参加インストラクター マネジャー 事務局

村山 尚哉氏 吉野内 浩志氏 佐藤 貴之氏 柳澤 修氏
中村 正光氏 古曾部 統太郎氏 米村 真由美氏 新 恭一氏
マネジャー名木 利幸氏 事務局村山 一平氏 計 10 名

● 大会割り当て

2025 年 7 月 22 日 @Zoom
事前研修会

2025 年 8 月 14 日 @厚別区民センター
事前研修会



2025 年 8 月 15 日 11:00K.O @札幌サッカーアミューズメントパーク
ソレツコ熊本（九州） VS 愛媛 FC（四国） 副審 INS: 村山 尚哉氏

2025 年 8 月 15 日 13:00K.O @札幌サッカーアミューズメントパーク
名古屋グランパス（東海） VS FC 東京むさし（関東） 副審 INS: 村山 尚哉氏

2025 年 8 月 16 日 11:00K.O @夕張サングリンスポーツヴィレッジ
F C ラヴィーダ（関東） VS 札幌ジュニア（北海道） 4 審 INS: 佐藤 貴之氏

2025 年 8 月 16 日 15:00K.O @夕張サングリンスポーツヴィレッジ
ガンバ大阪（関西） VS ヴィクサーレ沖縄（九州） 主審 INS: 佐藤 貴之氏

2025 年 8 月 17 日 11:00K.O @小樽市望洋サッカー・ラグビー場
ガンバ大阪門真（関西） VS SSS ジュニアユース（北海道） 4 審 INS: 村山 尚哉氏

2025 年 8 月 17 日 15:00K.O @小樽市望洋サッカー・ラグビー場
前橋 FC（関東） VS ツエーゲン金沢 U-15（北信越） 主審 INS: 村山 尚哉氏

2025 年 8 月 19 日 11:00K.O @栗山ふじスポーツ広場
ガンバ大阪（関西） VS SSS ジュニアユース 4 審 INS: 吉野内 浩志氏

2025 年 8 月 19 日 13:00K.O @栗山ふじスポーツ広場
ヴィッセル神戸（関西） VS FC 川越水上公園（関東） 副審 INS: 吉野内 浩志氏

- 大会振り返り（○=できた、△=アドバイス、●=改善点）

✓ 2025 年 7 月 22 日 事前研修会振り返り

- 大会概要、大会スケジュール等確認
- 競技規則の改正について（第 8 条、第 9 条、第 10 条、第 12 条、第 14 条について）
- 全国大会に向けて（大会期間中に起こりやすい事象について）
- 大会テーマについて「大会を成功させること」

「サッカーの「4 局面」と「球際」を理解したレフェリング」

レフェリングへのメリット

局面ごとに起こりやすい反則や選手の心理変化を予測できる。

攻撃 攻撃から守備（球際） 守備 守備から攻撃（球際）

球際とは？ 選手同士がボールを奪い合う際に起こる接触・攻防の場面

✓ 2025 年 8 月 14 日 事前研修会振り返り

- 事前研修会の振り返り
- 今大会に関する交代人数、交代回数について審判チームとしての協力
- 競技規則の改正
(GK の 8 秒ルールに関する再確認)

サッカーの4局面



✓ 2025 年 8 月 15 日 大会、研修会振り返り

<大会>副審

➤ 副審として

○新ルールの部分であるドロップボールの事象が起きた際に主審とコミュニケーションをとって保持しようとしていたチームで再開することが出来た

○主審にとって必要な部分（見えていない部分のサポート）が出来ていた。

●副審にとって最も重要な部分がラインキープである以上プレーの監視は主審に任せるべき。

●右手に旗を持ったときに特に力が入ってしまっている。

<研修会>

- 大会、各会場、チーム戦略、運営の情報共有
- INS による大会期間中の体調管理と栄養素に関する講義



✓ 2025 年 8 月 16 日 大会、研修会振り返り

<大会>主審 4 審

➤ 主審として

- 試合全体を通して一生懸命に行っていることが両チームにも伝わっていた。
 - ファウルかノーファウルの判定を行う際の角度の取り方が適切であったため見落としなく正しい判定に導くことが出来ていた。
 - A Rとの積極的なコミュニケーションが出来ていた。
 - 負傷による対応において試合を止める、止めないの判断が素早かった。
 - ゲームの展開を読み、予測の中で逆サイドに先取りして、結果クロスボールから渡ったプレーを真後ろから見れていた。
 - ファウルかノーファウルの判定する距離の面ではもう少し縮める必要がある。
 - △F Kマネジメントにおいて主審が笛の後にボールに近づくことによって守備側競技者は何を感じてしまうことになってしまうのか。
 - △A Tを4 審に先に作っておいてもらうことについて。
- 4 審として
- 交代の手続きにおいて両チームから連続で交代が来た際にベンチから交代を急がせる発言があったが毅然とした態度で行うことが出来た。
 - 判定に対するベンチの声に関して、対応が上手くできていなかった。
(主審が注意が1 回目にならないようにする。4 審は先に注意を行っておく。)
 - ボードを作る際にかがまないようにする。

<研修会>

- 大会、各会場、チーム戦略、運営の情報共有
- 大会テーマ「サッカーの「4 局面」と「球際」を理解したレフェリング」の
「球際とは？」についてディスカッション

✓ 2025 年 8 月 17 日 大会、研修会振り返り

<大会>主審 4 審

➤ 主審として

- 試合全体を通して細かなステップワーク、ポジション修正、予備動作が出来ていた。
- スプリントの部分に関してただ走るではなく、何を见たいのかが明確化していた。
- 前半、守備側競技者のファウルの笛から注意までの流れがスムーズであった。
- 試合を通して審判チームとしてそれぞれの役割を理解しコントロール出来ていた。
- ゴールが決まった際に主審が持っている情報と副審が持っている情報をしっかりすり合わせを行った後にゴールの判定が出来たこと。

●ADV をかけたことは良かったがなぜ ADV をかけたのか、そのファイルがどのようなファウルだったのか具体的に映像化する必要がある。

●ゲームの締め方、最後のファウルの強度を見抜き、注意が必要であるならば注意する。

➤ 4 審として

△テクニカルエリアの前には出ていないがベンチで立って指示を出しているスタッフへのアプローチのかけ方とコミュニケーションの取り方

△どのタイミングで強く出るのか主審を呼ぶべきなのかをタイミングを考える必要がある。

<研修会>

■ 大会、各会場、チーム戦略、運営の情報共有

✓ 2025 年 8 月 19 日 大会、研修会振り返り

<大会>副審 4 審

➤ 副審として

○逆コートでの CK 時にラインアウトに気が付かない主審に声で助言して正しい方法で再開することが出来た。

○オフサイドの判定とフラッグのタイミングを間違いなく、タイミングもベストであった。

○ファウルサポートも副審のサポートがあったからこそその納得感があった。

➤ 4 審として

●両チームから 2 人ずつの交代があった際に手続きは手順良くスムーズに出来たが交代の時の交代ボードの使い方に工夫が必要であると感じた。

△インプレー中に負傷した競技者がいた際に 4 審から声をかけるのは必要なのか。

<研修会>

■ 大会、各会場、チーム戦略、運営の情報共有

■ 事象に関する解決策と意見交換



● 最後に

この度はクラブユース U-15 全国大会に推薦していただいた中国サッカー協会、広島県サッカー協会の皆様に感謝申し上げます。

今大会、私は多くの審判員の方がいるこの大会だからこそ、自身の課題である部分の解決の糸口を少しでも見つけるという目標を掲げて参加させていただきました。

予選ラウンド、ラウンド 32 の 4 日間で 8 試合（主審 2 試合、副審 3 試合、4 審 3 試合）の割り当てをいただき、普段関わることのない他地域のインストラクター、審判員の方と交流し意見交換、アドバイスをいただき、多くのことを学ぶことが出来た大会でした。

今大会でさらに自信となった部分、新しく得た成果、今後の課題とある中で人としても、審判員としても成長していけるように目の前の 1 試合に向き合っていきます。

今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

